

令和4年度 第1回「エコシティたかつ」推進会議 次第

日時：令和5年2月13日（月） 13時30分から

場所：高津区役所 1階 保健ホール

1 開会

2 副区長あいさつ

3 議事（質疑応答含む）

（1）令和4年度「エコシティたかつ」推進事業における取組結果について

ア 学校流域プロジェクト

イ たかつの自然の賑わいづくり事業

ウ 普及啓発の取組について

（2）令和5年度の取組について

（3）情報交換

4 その他

5 閉会

<配布資料>

資料1 「エコシティたかつ」推進事業 令和4年度スケジュール

資料2 「学校流域プロジェクト」の進捗状況について

資料3 「たかつの自然の賑わいづくり」事業の進捗状況について

資料4 普及啓発の取組について

資料5 「エコシティたかつ」推進事業 令和5年度スケジュール

任期：令和4年7月1日～令和6年6月30日

令和4年度「エコシティたかつ」推進会議 委員名簿

区分	氏名	所属	職名
有識者	1 岸 由二	慶應義塾大学	名誉教授
	2 田中 友章	明治大学理工学部	教授
団体	3 庄司 佳子	川崎市地球温暖化防止活動推進センター	センター長
	4 宮寺 貞文	高津区市民健康の森を育てる会	代表
	5 加藤 伸子	高津区まちづくり協議会	
	6 浅井 久平	たちばな農のあるまちづくり推進会議	推進委員
区内企業・その他	7 平澤 克己	NECプラットフォームズ株式会社（区内企業）	環境工務部 環境企画・首都圏グループ 担当
	8 加藤 祐美子	株式会社川崎フロンターレ（区内企業）	集客プロモーショングループ
	9 今川 広明	株式会社富士通ゼネラル（区内企業）	CSR推進部 シニアマネージャー
	10 室井 寿子	マルイファミリー溝口	営業担当マネージャー
	11 飯田 直仁	学校法人 洗足学園	法人本部財務責任者
市民	12 遠藤 慶子	市民委員	在宅介護者の会 代表
校長会	13 松崎 哲範	川崎市立小学校長会高津支部	久本小学校長
行政	14 山城 祥二	川崎市教育委員会 総合教育センター カリキュラムセンター	指導主事
	15 筒井 康仁	川崎市高津区役所	副区長
	16 山本 隆之	川崎市環境局総務部企画課	課長
	17 内田 洋平	川崎市環境局脱炭素戦略推進室(温暖化対策計画・協働推進担当)	担当課長
	18 小沼 匡弘	川崎市建設緑政局総務部企画課	課長
	19 田中 康子	川崎市高津区役所保健福祉センター(学校・地域連携担当)	担当課長
	20 古谷 保則	川崎市高津区役所道路公園センター(協働推進担当)	担当課長

氏名	所 属	職名
【事務局】		
和田 一晃	高津区役所まちづくり推進部企画課	課長
今井 映子	高津区役所まちづくり推進部企画課	担当係長
桐ヶ谷 政幸	高津区役所まちづくり推進部企画課	担当係長
越智 かえで	高津区役所まちづくり推進部企画課	職員
堤 弘之	高津区役所まちづくり推進部企画課	職員

「エコシティたかつ」推進事業 令和4年度スケジュールについて

1 令和4年度スケジュール

事業名	内容等
学校流域プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・動画を活用したビオトープ管理（通年） ・区内市立小学校及び中央支援学校への学習支援（6校、5～10月）等
「たかつの自然の賑わいづくり」事業	<ul style="list-style-type: none"> ・水と緑の探検隊（12月） ・流域治水ガーデン整備推進（10～12月）
橘地区の農的資源を活かしたまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・高津さんの市（6回、通年） ・出張高津さんの市（3回、通年）
「緑と水でつなぐ 歴史街道 花街道」の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「区民ミニ・ガーデン」運営委員会（通年）
小学校敷地丸ごと3D化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での出前授業（12月）
「エコシティたかつ」推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・推進会議（2月）

2 令和3年度からの主な動き

・「学校流域プロジェクト」の取組について

区内小学校及び中央支援学校への学習支援として、「様々な学校ビオトープづくり」や「流れる水のはたらき」等について出前授業を行った。また、合わせて令和3年度に本事業で作成した環境学習支援の動画コンテンツを用いて、普及啓発に努めた。

・流域治水ガーデン（レインガーデン）の整備について

今年度からの新規取組として、緑ヶ丘霊園内の湧水地付近で区民協働での整備を進め、流域治水ガーデンを整備した。霊園内に自生する希少植物や在来植物を保全するとともに、適応策にもつながっている。（詳細は後述）

令和4年度 「学校流域プロジェクト」の取組について

1 学校流域プロジェクトについて

学校にビオトープや雨水利用施設を整備し、生きものや水循環について子どもたちが学ぶ場を作るプロジェクト

2 ビオトープを活用した環境学習支援等の実施状況について

学校名	実施日	学年等
坂戸小学校	7月5日	ビオトープ委員会(20名)
南原小学校	7月12日	5年生2クラス(42名)
梶ヶ谷小学校	8月30日	3年生4クラス(152名)
西梶ヶ谷小学校	8月31日	3年生3クラス(78名)
上作延小学校	10月4日	5年生3クラス(116名)
中央支援学校	6月22日	中等部2年生23名(+中等部1・3年、高等部の希望者)

3 その他

環境学習支援を目的に令和3年度に作成した動画コンテンツ(2本)を活用

(1)「ビオトープを作ろう」

○コンテンツの内容

学校流域プロジェクトのプログラムの一つ「ビオトープ=生きものがくらす場所」に関連し、区内小学校のビオトープの活用事例の紹介や蝶やトンボの成長過程を解説

(2)「ビオトープの整備・活用・管理(指導者編)」

○コンテンツの内容

学校指導者を対象とした、ビオトープの作り方や定期的な管理と学習活用を解説

○活用方法

区内小学校等における環境学習のための教材として、動画コンテンツを提供するとともに、他区の小学校等においても環境学習に活用してもらえよう、ホームページ(YouTube「川崎市たかつ区チャンネル」)で公表中。



川崎市たかつ区チャンネル

令和4年度 「たかつ自然の賑わいづくり」の取組について

1 たかつ水と緑の探検隊・エビネ返還

- (1) 日 時 令和4年12月1日(木) 9時00分～10時25分
- (2) 会 場 川崎市立緑ヶ丘霊園内
- (3) 参加者 下作延小学校5年生：30名／教師：2名
株式会社富士通ゼネラル：2名
緑ヶ丘霊園管理事務所：1名

(4) 内 容

○作業内容説明



○森づくり体験（木の間伐）



○エビネの移殖、落ち葉ベッド作り



○水辺の生物の観察



○下作延小学校内花壇へのエビネの移植



2 ノカンゾウの保全作業（レインガーデン・下作延小学校への移植）

※レインガーデンとは

流域思考を学べる花壇。斜面地に保水力のある植物を配すると、「土留め」の効果を発揮する。アスファルトで固められた地面と異なり保水力があり、降雨時に川に流れ込む雨水の量を減らすことができる。

流域思考を踏まえた気候変動適応策のひとつで、防災意識の醸成、生物多様性保全の理解促進にもつながる。

(1) 日 時 令和4年10月31日（月）8時30分～11時00分

(2) 会 場 緑ヶ丘霊園湧水地付近、下作延小学校花壇

(3) 参加者 下作延小学校5年生30名

(4) 内 容

○作業内容説明



○霊園内園路沿いのノカンゾウの掘り出し



○霊園内レインガーデンにノカンゾウの移植



○下作延小学校内花壇へノカンゾウ移植



普及啓発の取組について ～小学校敷地丸ごと3D化プロジェクト～

1. 目的

小学校敷地を小流域と見立て、その中の水循環を考える「学校流域プロジェクト」の一環として、流域での自然の地形（大地のデコボコ）を前提とした水の流れを意識し、適応策を考えるための機会を提供する。

2. 取組内容

「エコシティたかつ」推進会議委員である明治大学工学部建築学科田中研究室と協働で、川崎市立南原小学校周辺敷地を令和元年度に3次元スキャナーでデータ計測して作成した立体視画像やフライスルー・ムービーなどを用いて同行で出前授業を行った。

また、南原小学校を頂点とした扇状に広がる小流域のデータを取得し、その形状や特性を分析・考察することを目的として、新規に上作延団地周辺地域の3次元データを計測した。

(1) 上作延団地周辺地域の計測（計測日：令和4年9月5日）



2022年に計測予定エリア



2017～19年に計測したデータ（上からみた図）

(2) 成果物

- ・従前に2017～2019年度に計測したデータに、本年度計測したデータを追加して結合させて、より広域のデータを作成した。
- ・計測したデータから、立体視画像や断面画像などを作成した。（作成した成果物は後述の出張授業でも活用した。）



新規計測データを追加した広域の立体視画像

(3) 南原小学校への出張講義

日 時：令和4年12月6日（火）10：45～12：15（3、4時限）

場 所：南原小学校視聴覚室

参加者：5年生2クラス（42人）

概 要：「大地のデコボコから、みんなのまちの防災を考えてみよう」

小学校敷地の周辺の1/2000地形模型や過去から現在までの異なる時代の航空写真、「小学校敷地丸ごと3D化プロジェクト」の成果物である3D点群データによる画像・映像などを用いて、子どもたちにも分かりやすい形で題材を提供し、自分たちが住むまちや通っている小学校がどんな場所なのかを子どもたちが気づき、考える機会を提供した。そして、大地のデコボコ（小流域の地形）の特徴に合った賢い雨水の受け方等を一緒に考えることで、まちの防災について考える総合学習の授業を行なった。また、出張授業実施後には参加した児童を対象としたアンケート調査を行い、授業を通してどのような気づきや意識の変化が得られたのかを調査・分析した。

講義内容：1 みんなのまちの姿を見つめ直して考えてみよう

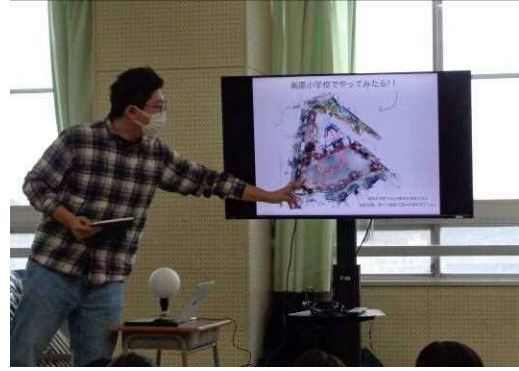
2 みんなの小学校をまるごと3D化してみよう！

3 近年の夏～秋の天候を振り返ってみよう！

4 大地のデコボコから、みんなのまちの防災を考えてみよう



田中教授による講義



田中研究室の学生による講義



3D化した南原小学校に興味津々！



地形模型に触れ、大地のデコボコを体感

「エコシティたかつ」推進事業 令和5年度スケジュールについて

1 令和4年度からの主な動き

- ・「学校流域プロジェクト」の取組について

ビオトープの維持管理及び学習は、出前授業での学習支援に代えて、令和3年度に本事業で作成した指導者向け動画を活用した各学校主体での授業を実施いただく方向。

- ・流域治水ガーデン（レインガーデン）の整備について

緑ヶ丘霊園内の湧水地付近で区民協働での整備を進めるとともに、霊園内に自生する希少植物や在来植物を区内企業や小学校で育成している。環境学習のみならず、ふるさと意識にも寄与する取組として「緑の里親」と名付け、育成への協力事業者や学校の拡大を図るとともに、育成した植物を緑ヶ丘霊園に戻す予定。

- ※ 市制100周年&緑化フェアに向けて

地域住民や墓参者の散歩道として市制100周年&緑化フェアに合わせて流域治水ガーデンを公開予定。

- ※ 脱炭素アクションみぞのくちについて

脱炭素アクションみぞのくち推進会議及びプロジェクト推進部会の活動を通じてモデル地区の取組を継続。

2 令和5年度スケジュール

事業名	内容等
学校流域プロジェクト	・動画を活用したビオトープ管理（通年） ・小学校への流域治水ガーデン普及（通年） 等
「たかつの自然の賑わいづくり」事業	・水と緑の探検隊（11月頃） ・流域治水ガーデン整備推進（通年）
橘地区の農的資源を活かしたまちづくりの推進	・高津さんの市（通年） ・出張高津さんの市（通年）
「緑と水でつなぐ 歴史街道 花街道」の推進	・キラリデッキ植栽体験イベント ・「区民ミニ・ガーデン」運営委員会（通年）
小学校敷地丸ごと3D化プロジェクト	・小学校での出前授業（12月頃）
「エコシティたかつ」推進会議	・推進会議（年度末頃）